

**Amir Tsarfati 氏 中東情勢スペシャルアップデート 2018年 8月 5日公開**

(日本時間 8月6日午前 2:00～＝イスラエル時間 8月5日午後 8:00～)

.....

皆さん、シャローム！アミール・ツアルファティです。長い長いミニストリートツアーから、ガリラヤに帰って来ました。シンガポール、日本、オーストラリア、ニュージーランドでは、素晴らしい時間を過ごしましたが、それでも自宅に戻り、再び家族や友達、教会の人たちと共に過ごせるのは、嬉しいものです。

ではお祈りをして、このスペシャルアップデートを始めたいと思います。

今夜、ここイスラエルのガリラヤより、皆さんにお伝えすべき事が沢山あります。

では、祈りましょう。

お父様。あなたの子どもである私たちは、時と季節を知り、理解出来ることに感謝します。また、私たちはそれを知り、理解すべきです。あなたは、恵みによってこれらのことを私たちに明かしてくださいましたから。

また、お父様、あなたに感謝します。あなたは、私たちが時と季節を理解するだけでなく、あなたのご計画の全て、あなたの御言葉の全てを理解することも望んでおられます。

あなたは、私たちがここにいる目的、使命を全うすることを望んでおられます。

私たちが、ただ競走を走るだけでなく、走り終えること、

ただ戦うだけでなく、勝利をおさめ、戦い遂げることを。

お父様。あなたに感謝します。

私たちは、キリストなしには何もすることが出来ませんが、キリストによって、私たちは全ての事が出来るのです。

ですから、今夜ガリラヤから、また、この世の四隅から、私たちはあなたに感謝し、あなたを祝福します。あなたの御名を讃えます。

あなたを愛し、あなたを賛美します。

私たちは霊とまことをもって、あなたを賛美したいと思います。

あなたの御名を讃えます。

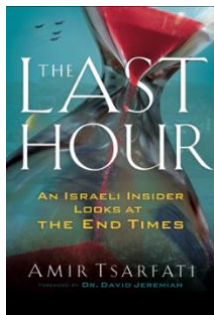
イエスの御名によって。

アーメン。

アーメン！皆さん、シャローム！こんばんは。イスラエルのガリラヤより、アミール・ツアルファティです。

ガリラヤでライブを行っていますが、外はもう暗くて、たいして何も見えないので、私のオフィスよりお届けしています。

今日は、非常にワクワクすることがいくつかあります。



今日の午後、私の初めての著書が届きました。「The Last Hour～Israeli insider looks at the end times～/終わりの時～終末に関するイスラエル人からの視点～」。

この本の制作に一年半かかりましたが、ようやく手にすることが出来ました。素晴らしい出来です。わたしの個人的な証しも、私の終末観全体の中に織り込んでいます。

もうすでに、次の著書の執筆にとりかかっていて、タイトルは「Between Heavens and Earth/天と地の間」。携挙直後の天と地で起こる事について書いていて、非常に面白いです。

Figure 1

アミールさん初の著書

昨日だったと思いますが、ある人から

「アミールさん、どうしてそんなに世界中を回って講演をするのですか？それは、ご自分のためですか？携挙がいつでも起こり得るなら、例えば11月の計画とか、どうして先の計画を立てるのですか？」

と聞かれました。そこで、この人だけでなく、今年11月の計画を立てるのは時間の無駄だと考えておられる全ての人へ、私の答えはこれです。

私たちは、鳩のように素直に、蛇のように聡く、巧みにならなければなりません。また、私たちは、携挙がすぐにでも起こるかに備えなければなりません。

皆さん全員に、ルカ19章でイエスが言われたたとえについて、思い出していただきたいと思います。これが驚くことに、主がそれを教えられたのは、イエスがエリコから出てすぐ、ザアカイとともにおられた時です。聖書には、こうあります。

**11 人々がこれらのことに耳を傾けているとき、イエスは、続けて一つのたとえを話された。それは、イエスがエルサレムに近づいておられ、そのため人々は神の国がすぐにでも現れるように思っていたからである。**

(ルカ 19:11)

つまり、彼らは、イエスがメシアである、だから神の国が近づいたのだと考えていたのです。そこで主は、彼らに言われました。

「みんな。メシアの初臨は、神の国を“今”もたらすためではない。」

「キングダム・ナウ」は、間違った神学です。

イエスは、彼らがそのように考えたから、この“たとえ話”を彼らに言わなければならない、と思われたのです。ある人のたとえ話です。

**12 それでイエスはこう言われた。**

「ある身分の高い人が、遠い国に行った。王位を受けて帰るためであった。」

(ルカ 19:12)

つまり、彼は行って、戻って来なければならなかったということが分かります。

**13 彼は自分の十人のしもべを呼んで、十ミナを与え、彼らに言った。**

『私が帰るまで、これで商売しなさい。』

(ルカ 19:13)

「わたしが戻って来るまで、従事していなさい。」

とイエスは言っておられます。

「わたしが戻って来るまで、あなたがたは商売をしていなさい。」

ルカの2章で、イエスが神殿に残されて、ヨセフとマリヤがそこへ戻って来た時、イエスは言われました。

**49 …わたしが必ず自分の父の家（書記注：新改訳第三版の欄外の脚注：※別訳わたしの父の仕事に）いることを、ご存知なかったのですか。」**

(ルカ 2:49 文末に脚注)

それが仕事であり、私たちも、イエスが来られるまで、これをしなければなりません。

王国（キングダム）は、今（ナウ）ではありません。

主は、警告されたのです。

「わたしの初臨を、王国だと考えてはいけません。そうではなく、わたしは戻って来る。そして、わたしが戻って来た時、わたしは、わたしが与えたもので、あなたがたは何をしたのかを、あなたがたに問う。」

ですから私は、今、私たちに与えられているごく限られた時間で、何としても御父の仕事に従事します。

それから、ヨハネ 17 章で、イエスは美しい祈りを捧げられました。

その時、イエスは、ご自身のことについて語られ、それから弟子たちのことを思って、このように言われました。

18 **あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。**

19 **わたしは、彼らのため、わたし自身を聖め別ちます。彼ら自身も真理によって聖め別たれるためです。**

(ヨハネ 17:18~19)

イエスが、私たちが世に遣わしておられるのです。それからイエスはこう言っておられます。

17 **…あなたのみことばは真理です。**

(ヨハネ 17:17)

ですから私たちは、御言葉を宣べ伝えなければなりません。

それを、イエスが来られるまでしなければなりません。

このために、私たちはカナダでのカンファレンスを計画しています。カナダの皆さんには既にお詫びしましたが、私は 9 月 22 日には、ブリティッシュコロンビアへは行きません。様々な理由から、私はあのカンファレンスには参加しないことに決めました。

しかし、私たちで、ビホールドイスラエル初のカンファレンスを行います。タイトルは、「Awaiting Hia Return/主の戻りを待ち望む」。

これは、ただの聖書預言カンファレンスではありません。このカンファレンスは、ただ聖書預言とキリストの来臨についてだけでなく、主が戻って来られるまで、私たちは何をすべきか、どう生きるべきか。そして、主が戻って来られるまで、信者である私たちが命じられている事とは何なのか、についても語ります。

あまりにも多くの人々が、預言だけに捉われて、最終的には、彼らの今の生活がめちゃくちゃになっていますから。

私たちは、神のご計画の全てを教えなければなりません。

私たちは、決して聖書預言を無視してはいけません。

しかし、それだけにフォーカスするべきではありません。

私たちは、全部を見なければなりません。

ですから、「Awaiting Hia Return/主の戻りを待ち望む」とは、あなたの心の状態です。

イエスは、ヘブル人への手紙でこう言っておられます。

28 **二度目は…彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。**

(ヘブル 9:28b)

あなたは、主の戻って来られるのを待ち望んでいますか？

もしあなたが、主の戻りを待ち望んでいるなら、あなたのところに、主は戻って来られるのです。そしてもし、あなたが主の戻りを待ち望んでいるなら、御父の仕事をしなさい、と主があなたに言っておられるのです。

「従事なさい」

と。これが重要です。

ですから、皆さん全員を励ましたいと思います。

どうか今、疲れてしまわないでください。

なぜなら、事実、私たちの時があるのです。

私たちは預言を知っていて、私たちは将来を知っています。

私たちは神のご計画を知っています。

そして私たちは、周辺で全ての事が起こっているのを見ています。

ですから、今こそ、今までにないほど、御父の仕事に勤しむ時です。

また、主が、私たちを真理で別ってくださったのです。

そして主は、「父よ。あなたのみことばは真理です」と言われました。

ですから、主が、真理で私たちを別ってくださって、彼が私たちに期待しておられる使命は、私たちが、この死にゆこうとしつつある世に、神の御言葉を伝える事です。

主は「父よ。彼らは、この世のものではありません。」と言われました。現在の私たちは、非常に奇妙な被造物ですよ！ここでは、私たちはまだ人間として、罪深い肉体の中にいます。しかし、私たちはこの世のものではありません。この世から出たものでもなければ、この世のものでもない。私たちは肉体的にこの世の中にいる。それだけです。しかし私たちは、この世とは同化しません。私たちは、この世の一部ではありません。私たちは御父の仕事をしなければなりません。それも、ただ行っただけでなく、完全にやり遂げるのです。これは、イエスについて、私が大好きなことのひとつで、主はあの祈りを捧げられた時、

「父よ。わたしはあなたのわざを成し遂げました」と言われました。

1 …「父よ。時が来ました。あなたの子があなたの栄光を現すために、子の栄光を現してください。

(中略)

4 あなたがわたしに行なわせるためにお与えになったわざを、私は成し遂げて、地上であなたの栄光を現しました。

(ヨハネ 17:1~4)

あなたには、これが言えますか？

あなたは、神があなたにお与えになったわざを成し遂げた、と言えますか？

もし、言えないのなら、行動してください。今がその時です。

以上が、私から皆さんに知らせておきたかったことです。

それから、この本に関して、私はとてもワクワクしています。

また、現在さらに他の著書にもとりかかっています。

皆が、真実を知るべきだ、と私は信じていますから。

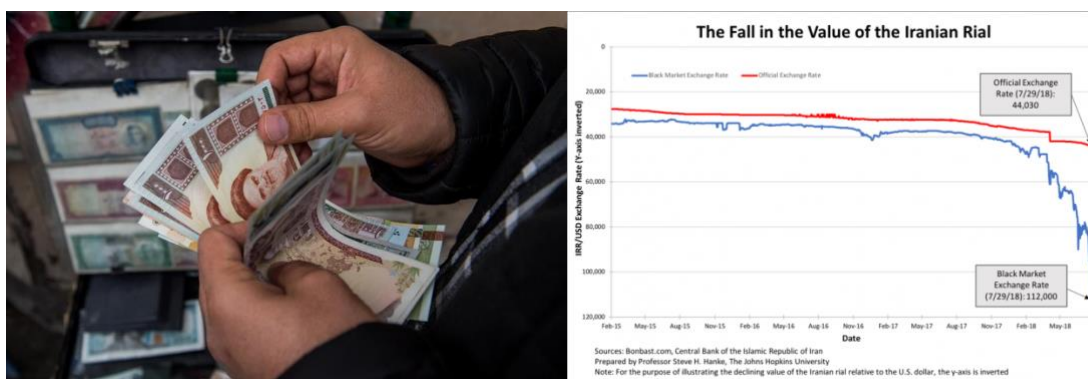
私たちの本は、現在、私たちのウェブサイト上のみの販売となっています。

Beholdisrael.org の Resource Store、今後はアマゾンと、他のクリスチャンの書店でも販売されます。すでに私たちのところには、1万冊近くの注文が入っていますが、これは物凄い事で、私は非常にへりくだらされます。私には理解出来ないことですが、きっと、皆がこれを喜んでくれたのでしょう。そのことに、私はとても祝福されています。

前もってお伝えしている通り、今回は、現在ペルシャ湾で起こっている事、および中東で起こっていることに関する、特別アップデートです。

では、そちらへ話を進めましょう。

明日、8月6日月曜日に、オバマ政権が解除したイランへの制裁が、トランプ政権によって、さらに厳しい形で再び課せられます。イランはそれを非常に恐れています。イランの通貨リヤルは、現在急降下しています。



イランのリヤル紙幣（左）と暴落したリヤル相場のグラフ（右）

もう、減茶苦茶です。ここまで低いのは、初めてだと思います。

そして、イランのほぼすべての町で暴動が起こっています。暴動は、アメリカやイスラエルに敵対してではなく、政権に敵対しています。



イラン国内で広がる暴動

私たちが耳にしたのは、革命防衛隊の何人かは、デモ隊に同情していると言います。それから、怒りの矛先をイランから逸らすため、もしくは、アメリカと他の世界に、イランが今でも力を持っていることを示すため、彼らは結構な速度を持つ戦艦 100 隻を使って、海上演習を始めています。



イランは、彼らの要求が満たされないなら、ホルムズ海峡を通過して石油を運搬することを認めない、と世界を脅迫しています。ホルムズ海峡は、ペルシャ湾からインド洋へと繋がる海峡です。彼らはまた、イランの操り人形・イエメン国内のフーシ派を指導して、紅海からアカバ湾、さらに遥かインド洋まで、バブ・エル・マンダブ海峡を封鎖しています。つまり、アラビア半島の上から下までの間に、二つの湾があって、一つはペルシャ湾、そしてもう一つは紅海とアカバ湾で、その両方ともが端っこに非常に狭い海峡があります。

Figure 2 Figure 2 ペルシャ湾と紅海の位置

イラン、その他の上はホルムズ海峡、下はイエメンとアフリカの間にバブ・エル・マンダブ海峡です。

ベニヤミン・ネタニヤフ首相が二日前、イスラエルの海軍士官学校の卒業式の中で

「イスラエルは、広範連合の一部に我々の海軍を使って、バブ・エル・マンダブを阻止しようとするイランの企みを止める。」

と発表しました。下のあの部分は、我々の任務です。我々の船はあちらを通りますから。世界の他の国は、現在ホルムズ海峡の方に対処しています。

この問題に関して、現在、イランとアメリカの間で緊張が高まっています。トランプ大統領はイランに対して、実に明確に伝えたと思います。

「我々は、あなたがたのハッターリを容認しない。」

トランプ大統領は、私の目には群を抜いて——人は、私が彼に対して偏見を持っていて、彼を賞賛していると言いますが、私は彼の全てに同意しているわけではありません。

しかし、これまでの彼の外交政策を見る限り、彼は、私の人生で見た中で、最も勇敢な大統領です。

皆さんに言っておきたいのは、前回のオークランドからのアップデートでも言いましたが、ちょうど一週間前だと思います。私のメッセージの真っ最中に、リベラルが立ち上がって、

「トランプは女嫌いだ！」

と言いました。あの時の自分の反応に、私は少し後悔しています。私の知る限り、彼は挑発するために来たのではなく、実は彼はクリスチャンで、イスラエルを愛していて、神の御言葉を聞くために来たようです。ただ彼は、メディアによって洗脳されていて、多くの人が彼のようなことを、私は認めるべきでした。私は、自分があのように反応したことを、公に謝罪するべきだと思いました。私は、もっと紳士的に対応するべきでした。ただ、聖書に敵対するリベラルのメディアが、人々の思想の中に入り込み、完全に崩壊させているのを見て、私は非常に失望しました。ですから、私は今、謝罪すべきでしょう。それでも、彼が私のメッセージを中断させたことは間違いであり、あれはしてはイケなかったと思っています。ただ、私もあのような形でなく、キリストのように対応するべきだったと思います。

ともかく、皆さんにお伝えしておきます。トランプ大統領は、彼の外交政策において、栄光からなる栄光へと移っています。この点で、アメリカには勝てないということを、最終的には全ての国が悟るでしょう。アメリカがこれ以上、——NATOであれ、ロシアであれ、イランはもちろんのこと、パレスチナも——彼らのペテンに目を瞑ることはありませんから。

次はもう一つ、驚愕の出来事です。この48時間のうちに明らかになった、驚愕以外の何ものでもない内容をお伝えします。中東の特別使節であるジャレッド・クシュナーと、ジェイソン・グリーンブラット、その他が「UNRWA/国際連合パレスチナ難民救済事業機関」を今後一切承認しないことを、現在検討しています。



ジャレッド・クシュナー（左）とジェイソン・グリーンブラット

これは、国連がパレスチナ人のためだけに作った、特別な機関です。

難民は世界中にいて、彼らは全て、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の下で管理されています。しかし、パレスチナ人だけは、彼らのための機関が別にあるのです。それが、パレスチナ人たちには、他の代にまですと難民としての立場を受け継ぐ特権が与えられています。そのため、第二世代、第三世代になっても、皆難民です。第二、第三世代になっても、まだ難民として認識されているような国は、この地球上で他にありません。そんなものは、ありませんから。これは、国家としてのイスラエルを破壊しようとした、スンニ派アラブ界によって、イスラエルを攻撃するという特定の目的のために変えられたのです。彼らは、イスラエルに立ち向かうなら、パレスチナ問題を通して、それを使って行うのが良い、と気づいたのです。皆さん全員に、Joan Peters 著「From Time Immemorial」（書記注：1984年著 邦訳版「ユダヤ人は有史以来」1988刊 滝川義人 訳 サイマル出版会 絶版のため、中古本が今アマゾンで高騰中です…）という著書を今、読むようお勧めします。これは、中東論争に関して書かれた本で、彼女は、全ての記録を開示しています。国連がパレスチナ人のために、どのように物事を操作していたかを、皆さんに提示しています。世界中の、他のどの難民にもしていないことです。大量殺戮を経験してきた難民の人たちは、パレスチナ人たちが受けているような待遇を、一度も受けたことがありません。そして、どうなっているかと言えば、パレスチナ人の第一、第二、第三世代は、自分たちが働かなくても、国連が面倒を見てくれると気づきます。そうすると、問題を解決する代わりに、問題を維持し、保存するようになります。そこで、ジャレッド・クシュナー、ジェイソン・グリーンブラット、アメリカの政権は、彼らが差し出そうとしているオファーの一部に、「パレスチナ人はもはや難民ではない」と入れました。

ヨルダンへ行きたいなら、ヨルダンへ行けば良い。

しかし我々は、彼らに仕事をさせ、家を建てさせる。

もうこれ以上、容赦しない。

第二世代、第三世代の難民など、あり得ない。それは使えない。

それは、合法でもなければ、他の世界ではあり得ないことだ。

それなのになぜ、彼らはそれを行なっているのか？

それから皆さんには、ぜひ、Alan Dershowitz の素晴らしい演説を、ユーチューブでご覧いただきたいと思います。あれは、反イスラエル派のカンファレンスでだったかと思いますが、彼が見事な演説をしています。動画のタイトルは、

「Alan Dershowitz Brilliantly Strikes Down Anti-Israel Question at Conference」

是非ご覧ください。

彼はその中で、実際にトドメを刺しています。これを観てください。

それから、ジョーン・ピーターズの「From Time Immemorial/ユダヤ人は有史以来」を読んでください。

どうか皆さん、事実を知って、メディアが皆さんを洗脳しようとして伝えている、あらゆるつづやきや、ワケのわからないことは間違いであり、操作されているのだということを理解してください。

事実は「もはやパレスチナ難民はいない」ということ、

また、事実は、仕立て上げられ、操作されてきた数字の全ては、何とかパレスチナ問題を維持して、イスラエルの存続の問題にするのが目的である、ということです。

ですから皆さん、理解しなければなりません。間もなく、アメリカの政権が、パレスチナ人とイスラエル人に提示しようとしている和平案は、史上最も改革的な提案です。

率直に言えば、私たちがその全てを気に入るわけではありません。

しかしながら、1000%確信を持って皆さんに言えるのは、パレスチナ人はそれを拒絶します。ですから、私たちは何も心配する必要はないのです。

このように、さらにどんどん多くの方が、これは上手く行かないことに気が始めています。パレスチナ人たち自身が、互いに合意していないのです。

ファタハとハマスがあります。ファタハは西岸地区を支配しており、ハマスはガザを支配しています。それが、彼らは、互いに口を聞きもしないのです。彼らは互いに憎み合っています。そこへエジプトが、なんとかして、パレスチナ社会の二つの派閥を何かで合意させようとしたのですが、彼らはそれをしません。そこで今、エジプトは、ガザ地区の問題に関して、何らかの対処をしようとしていますが、パレスチナ人たちは全く興味がなく、または、エジプトから屈辱を受けたと感じています。彼らはいつも誰かから屈辱を受けています。彼らはいつも誰かによって屈辱を受けたと感じているのです。まるで、エルドアンのです。エルドアンは、トルコがブランソン牧師の件でアメリカを騙したため、アメリカが彼らに課そうとしている制裁によって屈辱を受けました。ブランソン牧師は、刑務所からは釈放されましたが、監禁されていて、恐らく禁固20年が言い渡されるであろう、審判の日を待っているのです。

このように、私たちは興味深いことを目にしています。私は、最終的にアメリカがブランソン牧師を取り戻したとしても、驚きません。

トルコは現在、リラが暴落していて、アメリカからの制裁には耐えられないでしょうから。



日本円に換算すると、1リラ20円！

アメリカ経済は飛躍していて、トランプが参加する集会は全て、何十万という人で満員です。そしてメディアは、それに耐えられません。皆さん、人々はメディアが邪魔していることを理解しているのです。彼らは、人を助けているのではなく、敵対しているのです。そこで人々は、自らこういった集会に参加しています。現在、トランプ大統領が行なっているように、スタジアムや集会場を満員にした大統領は、史上一人もいません。その理由は、現在、彼の行うことは全て成果を上げているからです。経済は好転し、鉄工所は再び盛り返し、初めて仕事の数が、人の数を上回りました。こんなことは前代未聞です。これこそ、ずっと学校で教えていくべき事です。私たちが現在目にしているのは、信じられないほどの神の御手が、現在アメリカの上に置かれている証拠です。ところで、アメリカにそんな資格はありませんよ？しかし、神が、膨大な数の祈りを聞かれたのです。アメリカの中には、まだ素晴らしい信者の社会がありますから。神がアメリカの信者の祈りを聞かれ、恐らく最後のチャンスをお与えになったのだと、私は思います。

私は世界中を訪れていますが、世界中いたるところで信者たちが同じように、トランプ大統領が当選した時、神の御手がそこにあったのを見て、完全にそれを理解しています。

ですから皆さんに言うのです。これは、かなりすごい事です。

ところで、私たちのところに何百人という数の人たちから連絡が来て、

「アミールさんの言うとおりでした。ユーチューブが、私たちの登録を解除していました！」

と言っています。

「フェイスブックが私たちを友達解除していました。私たちはフォローしていなくて、どうしてあなたがずっと何も投稿



しないのか、分かりませんでした。』

と。私は、毎週何かしら投稿していましたから、ユーチューブとフェイスブックにやられたのです。ですから、どうか皆さん、ユーチューブを開いて、皆さんが Behold Israel をフォローしているかどうか確認してください。フェイスブックとユーチューブで、登録、フォローしているかどうかご確認ください。

もし自分の意志でそれをされたとして、まだ、登録されたままであるかは定かではありません。彼らが、皆さんを解除していますから。言っておきますが、現在私たちは、インターネット上で「静かな戦い」を目にしています。ソーシャルメディアは、私のメッセージを伝える手段です。ちなみに言っておきますが、私は携帯を使っています。高価なカメラではなく、携帯を三脚に置いて、今も行なっています。そのたった一つの携帯にマイクを繋げて、私は世界中の膨大な数の人たちに、メッセージを伝える事が出来るのです。それを止めることが出来ないために、彼らが何をするかと言えば、「無作為に」人を選んで、登録解除です。本人たちは気づきもしません。私たちがそれを発見した時、何百という数の人たちが連絡して来て言いました。

「おっしゃる通り、私も登録解除されていました！」

皆さん、私たちは静かに、それでいて激しい戦いが現在、至る所で起こっているのを目撃しています。ですから、皆さん、どうか気をつけてください。

イスラエルの経済が、今日、“水準/貧困”からランクアップしました。

初めて私たちは、「AA」や「AAA」の上流階級諸国に仲間入りして、史上初めて「AA」になりました。私たちの始まりは「BB」です。今日、我々の経済は非常に強く、世界中の国々がイスラエルに投資しようとしています。それは、私たちに、ただそれを返せる力があるだけでなく、私たちには大きく返す力があるからです。ただ、「A」から「AA」にランクアップするだけでも、イスラエルは年間2~30億ドルを節約することになります。これは、驚くべき事です。昨日、それが起こり、私たちは非常に祝福されました。

皆さん、シリア国境では、ロシアが軍事警察によって、いくつかの地位を展開することに成功し、イランにも、ヒズボラにも、シーア派の民兵にも、イスラエル国境地域に人を配置することを許していません。さて、ある報道では、ロシアが我々の国境から約85km離れたところまでイランを追い出したと報じており、また別の報道では、シリアからイランを排除することは出来ないとしてロシアが認めた、と伝えています。私たちは、ロシアにそれが出来るとは思っていません。しかし私たちにそれが可能ですし、私たちはそれをずっと行なっています。我々は、彼らの能力を取り除いているだけでなく、その能力の背後にいる人々も取り除いています。

昨日、謎の車の爆破が起こり、シリアの研究センターのトップが死亡しました。ハマー近郊の有名な場所で、そこで彼らは長距離ミサイルだけでなく、精密兵器と化学兵器も開発しています。その男は、死んだだけでなく、今ごろは天国で72人の乙女が彼を待っていなかった事も発見しているでしょう。彼ら全員にとって、それを発見するというのは痛い事ですが、イスラエルはすべきことを行います。

先日は、複数のISISの作業者が、我々の国境からさほど遠くない所にいるのを発見し、我々はその内の7人を殺害しました。彼らは武装していて、我々は然るべきことを行います。

反政府勢力は、イスラエルに非常に失望しています。

彼らは、イスラエルがシリア内戦に関わらないと決断し、バッシャー・アル＝アサドと、ロシアが国境に戻るのを認めたのを見ました。

明確にしておきますと、これは我々に下せる最高の決断です。

しかし我々は、これに対して大きなツケを払うことになります。

どういう意味でしょう？

今は、我々にとっては、他のテロ組織より、ロシアがあそこにいる方が良いのです。

しかし、我々は、それに対して大きなツケを払うことになります。

それは、もし我々が、ロシアが国境にいることを許すなら、私たちの知っている通り、その時が来て、彼らが短時間でイスラエルに攻めこんで来たとしても、驚くには至りません。ですから、信者として私たちは、非常に面白い世界に生きていることを覚えていてください。

私たちは、この世のものではありません。

しかし私たちは、この世の中にいます。

イエスは言われました。

**15 彼らをこの世から取り去ってくださるようというのではなく、悪い者から守ってくださるようお願いします。**

(ヨハネ 17:15)

ですから、もし彼が、私たちをこの世から取り去ってくださると御父に求めておられたなら、私たちの誰一人として、今、ここにいなかったでしょう。しかし実際には、

「彼らはここにいなければなりません。ですが、どうか彼らを悪い者から守ってください。」

と言われたのです。

だから、神の子ども、光の子ども、この世のものではない私たちに見えるものが、この世のものである人々には、見えません。

政治家たちも、総督たちも、アナリストたちも、シークレットサービスも、見る事が出来ません。

そこで今、イスラエル政府は、ロシアが国境に留まることで合意したことを、非常に喜んで満足しています。もし、私が首相の立場なら、きっと私も同じことをしていたでしょう。しかし、信者として私は、その時が訪れること、そしてその時が来れば、彼らをあそこに駐留させることを許した我々の決断が、我々にとってあだとなることも分かっています。

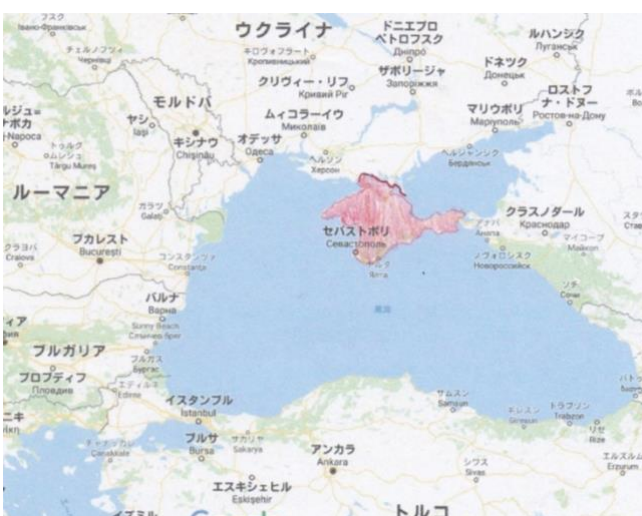


Figure 3 クリミア半島の位置 (赤く色づけしたところ)

皆さんに言っておきたいのは、そもそもロシアは、どうしてはるばるシリアまでやって来たのか？とよく聞かれるのですが、皆さん、覚えていらっしゃるでしょうか？彼らははるばるシリアまでやって来たのは、彼らがクリミア半島をウクライナから占領した直後です。

彼らの、ウクライナの扱い方に対する、あらゆる国際的な圧力や、批判をかわすため、ロシアは一つの行動で、二つのことを行おうと決めたのです。

① シリアに行って、誰も援助したくない、誰も関わりたくない紛争を、自分たちは気にかけているということを、世界中にアピールする。

② そして同時に、シリアに到着したなら、自分たちは石油とガスを戦利品として略奪しよう。

彼らがよく分かっていなかったのは、こんにち、ユーフラテス川の東側にある石油とガスのほとんどは、彼らの支配下にはありません。彼らには、それは出来ません。

現在ロシアは、非常に絶望的な状況下にあります。彼らがシリアに投資した、何百万ドルという資金を回収することが出来ないためです。だから実際に彼らは、アメリカやヨーロッパに、シリアを再建するために投資を懇願しているのです。少なくとも、シリア再建のために、ロシアの会社を使ってほしいと思っています。つまり、石油やガスを手に入れられないなら、それを行なうために契約を取ろう、ということです。

現在、かなり興味深い事が起こっているのです。実際私は、現在ロシアがシリアで深く関与しているのを見て、かなり感動しています。将来的に、イスラエルがシリアの首都に対して何かを行うとすれば…私たちは、ダマスカスが滅ぼされるという、イザヤの約束を知っていますから。ですから、私たちが何かを行うとすれば、それはロシアに対して行います。シリアの復興再建は、ロシアに任されていますから。

ですから、シリアを攻撃するという事は、ロシアへの攻撃とみなされます。近い将来、非常に興味深いことになります。

ということで、湾岸での緊張感についてお話ししました。

それから、アメリカの和平合意では、国連パレスチナ難民救済事業機関を廃止しようとしている事についてもお話ししました。

イスラエルが「AA」にランクアップしたことについて、そして、多大に信頼されていることについてもお話ししました。

それから、ロシア駐留のおかげで、シリアとの国境が現在静かであることもお話ししました。

それから国連は、彼らの軍隊を再配備しました。

国連はずっと前に、シリア側のゴラン高原を逃げ出して、イスラエル側に落ちていたのです。それが今、彼らは安全だと感じて、あちらに戻りました。

彼らが安全だと感じる場所は、イスラエルですが、今は、彼らはロシアに面倒を見てもらっています。

ガザのペテン師たちについてもお話ししました。

これは決して終わることがありません。

彼らは、私たちが憎む以上に、互いに憎み合っています。

それから、厳しい制裁が、明日8月6日、イランに課されます。そしてその事で緊張感が高まっています。イランの人たちは非常に絶望していて、政権によって攻撃を受けた女性店主の息子が、昨日、焼身自殺を図りました。思い出してください。2010年、アラブの春が始まったのは、チュニジアで、絶望した店主が焼身自殺を図り、そこからアラブの春に火が付きました。ですから昨日、イランで焼身自殺を図った少年によって、さらにどんどん勢いがつくと、イランは全ての怒りを自分たちから逸らすため、何か思い切ったことをしなければならなくなります。

今日は実に多くのことをお話ししましたが、皆さん全員を励ましたいと思います。

どうか、疲れてしまわず、使命に目を向けてください。

まさにイエスが言われたように、

18 (父よ。) **あなたがわたしを世に遣わされたように、…**

(ヨハネ 17:18a)

それからイエスご自身がこう言われました。

4 **あなたがわたしに行わせるためにお与えになったわざを、わたしは成し遂げて、地上であなたの栄光を現しました。**

(ヨハネ 17:4)

私たちも、わざを成し遂げなければなりません。

私たちは、目標と方向を定めて、考えなければなりません。

私たちには、すべき仕事があるのです。

私たちには、すべき仕事があります。それは、御父の仕事です。

私たちには、少ししか時間がありません。

そして、主が戻って来られるまで、私たちは仕事に従事していなければならない、とイエスから指導されています。

私たちは、一つの預言カンファレンスから、次の預言カンファレンスへと渡り歩いて、この迷い出た世に対して、福音を伝えるという自分たちの義務を忘れるべきではありません。神の御言葉の健全な教えを、この世に伝えるのです。イエスは、このように言われました。

17 **真理によって彼らを聖め別ってください。あなたのみことばは真理です。**

(ヨハネ 17:17)

それから彼は、こう言われました。

15 **彼らをこの世から取り去ってくださるようではなく、悪い者から守ってくださるようお願いします。**

16 **わたしがこの世のものでないように、彼らもこの世のものではありません。**

17 **真理によって彼らを聖め別ってください。あなたのみことばは真理です。**

(ヨハネ 17:15~17)

神の御言葉は真理です。そして私たちは、私たちの住むこの世で、神の御言葉を世にもたらすなら、その時、私たちは神の御言葉によって聖められるのです。

それを行い、私たちを救うため、イエスは来られ、そして次に、こう言われました。

18 **あなたがわたしを世に遣わされたように、私も彼らを世に遣わしました。**

(ヨハネ 17:18)

「あなたは、あなたの御言葉を通して世を救うため、わたしを遣わされました。今、わたしも彼らを世に遣わします。」

面白いと思いませんか？

いいですか？皆さん全員を励まします。

あなたは、光の子どもです。

あなたは、この世のものではありません。

信者の一人一人を、私は「核原子炉」と呼んでいますが、皆さん、理解しておいてください。皆さん、「疲れた」とか、「この世は私たちには重すぎる」とか、そういった考えは捨てなければなりません。

私たちは、光の子どもです！面白いと思いませんか？

こんにちのこの世では、非常に力を持った一族が、自分たちは光を見た、と信じています。この世の中で、ごく少数の人たちが、サタンが世に光をもたらし、自分たちはその光を見た、だから、自分たちだけが世を治めることができるのだ、と信じているのです。世は馬鹿で、全く何も理解出来ない、しかし自分たちはよく理解していて、そのため、自分たちが世を制覇して、世界統一政府を創らなければならない、と彼らは考えています。彼らは、自分たちは光を見たから、世を支配出来る、と考えています。彼らは、ルシファーの光を見たのでしょう。

しかし、私たちは光の子どもです。

私たちは、この世の光の子どもです。

皆さんの一人一人が、サタンの恐れているものです。

私たちは、超パワフルです。

しかし、それは、私たちの力ではありません。

それは、主の力です。

この世において、キリストの使節にいるということは、真理によって聖別されるということで、私たちは、自分の行いによって聖められるのではありません。真理によってです。そして、「あなたのみことばは真理です」とあります。

もしあなたが、御言葉に浸っているのなら、もしあなたが、本当の信者なら、あなたは、物凄い権威によって動いているのです。あなたの中には、物凄い光があるのです。それが、私たちです。

私たちは、それを行動に移さなければなりません。

私は何も、ポジティブスピーカーになるつもりはありませんよ。

私はただ、フワフワしたことを伝えようとしているではありませんよ。

私は、御言葉が告げていることを伝えているのです。

私たちがだれであり、私たちは、主が来られるまでに何をすべきかを伝えているのです。

彼は、私たちに仕事に従事しなさいと言われました。

私たちは従事しなければなりません。

倒れ込んで、自己憐憫に浸っている時間はありません。

今こそ、私たちは光の子どもとなるべきです。私たちは、この世のものではありません。

神は、私たちに素晴らしい賜物をたくさん与えてくださいました。

ですから、皆さん全員を励まします。

時間は短く、すべき事がたくさんあります。

常に互いに批判や何かをし合うのではなく、ただ御言葉を携えて外に出て、宣べ伝えるのです。

言っておきますが、恐らく人はそれを嫌がるでしょう。

聖書でイエスが祈られた時、「世は彼らを憎む」と言われました。

ですから、私たちは、世の愛を求めて外に出るのではありません。

それは違います。

皆があなたにキスをして、あなたを愛し、あなたにハグをするなんて、考えてはいけません。しかし世は、真理を聞かなければなりません。そして、誰がそれに反応するか、私たちには分かりません。

あなたの家族かも知れないし、友達かも知れません。もしかしたら、職場の同僚かも知れません。あなたには、分かりません。

しかし、この世に愛されようなどと期待してはいけません。  
 もし、世があなたを愛するなら、あなたは大変なことになります。  
 あなたの中の、何かがおかしいのです。  
 もし、世があなたのことを賞賛するなら、あなたの中の何か、あなたの信仰、あなたの教え、あなたの人生、何かが悪く間違っています。  
 世が私たちを愛するなんて、あり得ないのです。  
 私たちはこの世のものではなく、私たちはこの世に愛されることもなければ、この世を愛することもありません。ただ、私たちは、彼らに真理を渡さなければなりません。  
 私はこれを「Gospill/ゴスピル（福音の薬）」と呼んでいます、それを渡すのです。  
 世は、死にかかっているのです。  
 しかしゴスピルは、彼らに永遠のいのちを与え、救うことができます。ただ、あなたには、それを彼らに与えることは出来ても、彼らにそれを飲ませることは出来ません。彼らの口に無理やり押し込むことは出来ません。  
 彼らにゴスピルを与えましょう。  
 それを飲むか飲まないかは、神の仕事であり、彼らが決めることです。  
 私たちの仕事は、ただ渡すことです。  
 イエスは、誰に対しても、メッセージを押し付けたことは一度もありません。  
 あのたとえ（前出：ルカ 19 章）の中で、イエスご自身が言っておられます。

#### 14 しかし、その国民たちは、彼を憎んで…

(ルカ 19:14a)

受け入れない、と言われました。  
 彼を受け入れたい人は受け入れ、拒否したい人は拒否しました。  
 あのたとえの中で、主ご自身が言っておられます。  
 「人は彼のことを嫌い、受け入れない」と。  
 それから彼は、このように言われました。

#### 14 しかし、その国民たちは、彼を憎んでいたのも、あとから使いをやり、『この人に、私たちの王にはなってもらいたくありません。』と言った。

(ルカ 19:14)

これが、世です。彼らは、プライドからこのように言います。  
 「我々は、神に支配されない！」  
 これは、ルカ 19 章の驚くべきたとえです。  
 皆さん、ぜひ読んでください。  
 これは、こんにちの世の見事な描写です。  
 しかしこれは、世の描写であるだけでなく…ちなみに、残念ながら、それは長くは続きませんよ。ただ、これは彼が来られるまでの間、私たちがするようにと、彼が望んでおられることの描写でもあります。  
 ですから、皆さん全員にお伝えしたいのは、皆さん全員が御言葉を携えて、他の人たちに渡してください。  
 まずは、私たちが出て行かなければなりません。非常に興味深いです。

ですから、皆さん全員を励ましたいと思いました。

繰り返しますが、私の著書「The Last Hour」をお読みになりたい方は、[beholdisrael.org](http://beholdisrael.org)でご注文いただけます。すでに、私たちのウェブサイトとアマゾンを合わせて、1万冊近くが売れました。発売からまだ10日しかたっていません。このことで、私たちは非常に謙虚にさせられます。

以上です。

どうか、あなたのユーチューブとフェイスブックをご確認ください。

登録解除、または、アンフレンドをされているかも知れません。

多くの人たちから聞き取ったことです。確認しなければ、分かりません。

カナダの皆さん、ジャック・ヒブズ牧師、バリー・スタグナー牧師、それから私とで、第一回目の「Awaiting His Return/主の戻りを待ち望む」カンファレンスを行います。2018年11月10日、トロントです。これから数日のうちに、詳細を確認して、正確な場所をお伝えします。それから、オンラインで登録するページをお伝えします。その前に情報が必要な方は、私たちにメールをください。[canada@beholdisrael.org](mailto:canada@beholdisrael.org)です。フルネームと、ご住所、市町村名と国名をお知らせください。アメリカから来られる方もいらっしゃるでしょうし、ほとんどの方がカナダの人でしょうが、私たちからご連絡します。私たちは、非常にワクワクしています。このカンファレンスを全世界にご紹介します。

「Awaiting His Return/主の戻りを待ち望む」

私たちは人々に、聖書預言を知ってほしいと思っています。

終わりの時と、しるしと、季節を知ってほしいと思っています。

しかし、さらに彼らには、主が戻られるまでの彼らの仕事、義務も知ってほしいと思っています。

先ほども言いましたが、彼は、彼の戻りを心から待ち望む者のところに戻って来られます。このことに、私は非常にワクワクしています。

それからもう一度、あのオークランドの若者に謝罪します。

彼と電話で話をし、個人的に謝罪できればと思っています。



Figure 4

イスラエル建国を宣言するベン＝グリオン

皆さん全員には、お祈り、ご支援、皆さんの友情、それからイスラエルのために執り成してくださり、感謝しています。

リベラルの悪魔的な物凄い企てが、この国を乗っ取ろうとしているのを、私たちは今、目にしています。ヨーロッパやアメリカ、その他の多くの国々で、皆さんが見ておられるのと同様です。ベニヤミン・ネタニヤフが、あれほどに緊迫して国家法を可決させた理由は、超リベラルの我々の最高裁が、徐々に、国家のユダヤ人としてのアイデンティティーを消し去り、最終的に、この国はユダヤ人だけのものではない、と宣言しようとしていることに気付いたからです。アラブ人や、他の人種のためには、他にたくさんの国があります。しかし、ユダヤ人にはただ一つ、イスラエルです。そのために、独立宣言で、我々は次のように言ったのです。「ここは、ユダヤ人の故国である。」

バルフォア宣言が、「そこはユダヤ人の故国である」と告げ、  
サンレモ会議が、「これはユダヤ人の故国である」と告げ、  
ユダヤ人のための故国というのは、1922年に、イギリスに与えられた権限でした。  
これが、私たちです。

ユダヤ人の故国。

私たちは、謝罪しません。

皆、自由に住むことができます。皆、平等です。

ユダヤ人が誰かに勝るものではありません。

しかし、国のアイデンティティーは、ユダヤ人国家です。

ヘブル語が我々の言語、エルサレムが我々の首都、ハティクバが我々の国歌です。他の人たちも、その一員になるのは大歓迎です。しかし、ユダヤ人国家としての、この国のアイデンティティーを取り上げることは出来ません。この国には、独特のステータスがある。これが事実です。

ということで、アロンの祝福をもって、終わりましょうか。

今夜はこれで終わります。

	ヴェイシエメレハー		アドナイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	ヤーエール		
וַיְתַנֶּחֶם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー アドナイ ヴェイシエメレハー  
ヤーエール アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー  
イッサー アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

シャローム。あらゆる理解を超える平安、平和の主であられる、平和の君にしか与えることの出来ない平安、今も、永遠に、ここでも、どこでも、平安を与えることの出来るお方、主の御名イエシュア、世の救い、イスラエルの民の栄光で



あるお方の御名を通して祈ります。アーメン。

アーメン。お付き合いいただき、ありがとうございました。

対応すべき事がたくさんありましたが、皆さんが後ほど、ユーチューブでこれを聞いて、励まされることを願います。

どうか、ユーチューブ、フェイスブックを確認して、再登録、再フォロー、またはフレンド申請してください。膨大な数の人が、フェイスブックやユーチューブによって、静かに取り除かれていますから。

ありがとうございます。God bless you!

イスラエルのガリラヤより、シャローム。さようなら。

---

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

#### 【写真出典一覧】

アミールさん初の著書 : Facebook より

イランのリアル紙幣と暴落したリアル相場のグラフ : Forbes “Iran’ s Rial Is In A Death Spiral, Again” July 29<sup>th</sup>, 2018

イラン国内で広がる暴動 : METRO News Kate Buck “Is Iran really on the blink of revolution as 100,000 protest against leader” August 8<sup>th</sup>, 2018

ペルシャ湾と紅海の位置 : Google Map 海峡の位置、湾の位置書き込みは書記。

日本円に換算すると、1リラ 20円! : Twitter より 2018/08/09

クリミア半島の位置 : Google Map (色付けは書記)

イスラエル建国を宣言するベン=グリオン : Wikipedia 「ダヴィド・ベン=グリオン」

#### 【脚注】

ルカの2章49節は、新改訳2017欄外の脚注には

別訳「父の者たちの間に」「父のみわざのうちに」とある。

英語欽定訳(KJV)は次の通り。

49 And he said unto them, How is that ye sought me? Wist ye not that I must be about my Father’ s business?